

2014年度第2回日本学連幹事会 資料

開催日 2014年(平成26年)9月14日(日)
会場 蓼科パークホテル(長野県茅野市)

【資料一覧】(敬称略)

| | 資料タイトル | 関連議題 (番号) | 備考 |
|-----|-----------------------------|--------------|----------------|
| 資料1 | インカレスプリント実施に向けたアンケート 各大学の意見 | 3 | 作成者:平野大輔(事業部長) |
| 資料2 | インカレスプリント実施に向けたアンケート | 3 | 作成者:平野大輔(事業部長) |

インカレスプリント実施に向けたアンケート 各大学の意見

事業部 平野大輔

1.日程、競技形式などに関して

ロング出走者、特にエリートが前日にスプリントを走るのは体力的な負担が大きく一部の競技者がインカレスプリントを走るに足る実力を持ち合わせていてもスプリント出走を避ける可能性がある。しかし、時間の面でインカレロング前日が開催日として相応しいと思われる。また、モデルイベントとの兼ね合いから予選・決勝方式の採用は難しいと思われる。(一橋大学)

ロング前日開催の流れから決勝1本というようになっているがどうなのか。

運営の負担等はあるが、それでも予選決勝方式が望ましいように思う。

インカレスプリント開催議論の経緯から言っても、多くの人に門戸が開かれ、かつ「フォレストでは活躍できないが…」というような人材にも光が当たらなくてはいけない。現状、予選の方式は各学連に任せる流れであり、またシステム上、枠の偏りはいくらかでも生じうる。(現在のミドルAエリートのように、一度枠が減ると取り戻しが難しいということ)そのためには地区に割り振る数を増やすためにも、(偏りを軽減させる工夫も必要かもしれないが...学連配分枠を増やすとか) 予選決勝方式が望ましいように思う。

また予選ボーダー争いなどの盛り上がり観戦としての盛り上がりを生み、ショーアップスポーツとしてのあるべき姿に近づくのではないか。加えて、予選(しかも衆人環境?)の緊張感というのは、プレッシャーの中でのナビという、非常に良い経験になるのではないか。(筑波大学)

将来的には予選決勝方式を目指して行ってほしいと思う。(立教大学)

出場枠は各学連に振り分けられることには賛成だが、学連ごとにスプリントの大会数が異なることもあり、選考法は各学連に一任するのが良いとする意見が多かった。(東北大学)

山上案に異論なし。(お茶の水女子大学、横浜国立大学、岩手県立大学、岩手大学、宮城学院女子大学、実践女子大学、十文字学園女子大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、東北大学、名古屋大学)

2.一般クラス設置の是非、観戦・演出に関して

時間と運営の関係上、一般クラスを設けることは厳しい。やるならばチャレンジクラスの方が良い。観戦エリアを通過するレッグでルートチョイスがあると楽しいだろう。あらかじめ観戦者には地図を公開する。(お茶の水女子大学)

チャレンジクラスを設けることで自分とスプリントエリートとの差を把握することができ、モチベーションの増加に繋がり、スプリント競技の活性化や、インカレスプリント参加者の増加に繋がるのではないかと。

前回の試行大会では観戦ガイドの数が非常に少なく観戦者に満足に行き渡らなかったことや、競技中の選手を見れるエリアが限られていたことを不満に感じた人が多くいたと考えられるため、それらの点を改善することが必要である。(一橋大学)

モデルイベントと合わせて自由出走のフリーチャレンジが良い。観戦に関してはコースの設定を工夫し、ビジュアル区間を増やす、実況を行うことで、競技の進行状況がよく分からずに飽きてしまう事態を防げるのではないかと。(横浜国立大学)

一般クラスは設けたほうが良い。走れるほうが参加率は高まる。観戦・演出についてはですが、中継があると良い。固定カメラをポスト付近に設置しておき、映像を流す。(岩手県立大学)

運営的に負担がなければ、一般クラスを別に設けるほうが良い。運営陣の充実が図れるまでは、実験大会同様チャレンジクラスで様子を見ていくのがいいと思われる。プロジェクターによる選手通過の様子を放映することは面白いと思うが、費用が心配である。実況は競技形式的にミドルの実況よりも難しいと思われる。(岩手大学)

観戦ガイドの配布を希望します。(宮城学院女子大学)

インカレスプリント自体の存続のために必要ならば一般クラスを設けるべき。演出として観戦エリアの拡大、実況、プロジェクターの使用、観戦ガイドの増量、観戦者の試合状況の把握があるとよい。(実践女子大学)

運営者の負担を考えると選手権クラスのみが望ましいと考える。観戦ガイドを配布すべきである。(十文字学園女子大学)

一般クラスを設けたほうが参加しやすいが、参加者が多いと時間がかかりモデルイベントの時間がなくなるのが心配。観戦は実況とラジオコントロールによる速報、可能なら固定カメラがあると観戦者は選手の動きがわかり、より楽しめるのではないかと。(椋山女学園大学)

一般クラス、チャレンジクラスはあったほうがよい。可能な限りその両方を設けたほうがよいと思うが、運営が追いつかなくなる可能性も考えられるので、その場合はチャレン

ジクラスを優先的に設けるべきである。スプリントは見せることに重点を置いているというならば、各大学に観戦ガイドは何部か配布すべき。

演出について、プロジェクターに GPS 表示などは難しいと思うので、見ている人が選手がどんなコースを走っているのか知ることができるように競技中の地図の公開はおこなえないものか。これも各大学に何枚か地図を配布できればよいと思う。(千葉大学)

演出に関して、「見せるオリエンテーリング」を考えるなら例に出てきた演出(観戦ガイドの配布、観戦エリアの拡大、プロジェクターによる選手通過の様子を放映、実況等)をするとよい。場合によってはユニバの経験者に経験を聞いて参考にする。

一般クラスが設けられた場合走りたい人と走らなくてもいい人の割合は大学内で五分五分くらいだった。参加費収入が必要で、一定数が出走を希望している以上一般クラスは設けるべきだと思う。ただし、ロング等他部門のように学生のほぼ全員が参加する流れになってしまうとタイムスケジュールが厳しいと思われるので、本当に走りたい人だけにエントリーしてもらおうという意味で MEC クラスを設けるのはありだと思う。一方で他部門ではチャレンジクラスはない。選手権保持者だけが走れる特別なものだった。スプリントだけ簡単にチャレンジクラスを作ってよいものか。

観戦・演出については、出走者を隔離した後にコース地図の販売をする、観戦エリアはテレイン内どこでも可能とする、ラジコンを使い、即座にタイム差がわかるようにし、実況をするのがよい。(東京大学)

一般クラスは設けてほしい。(東京工業大学)

一般クラスは観戦者が減る、時間的制約が大きくなるという理由で必要ないと思う。選手権の前に一斉スタートあるいはフリースタートなら問題ない。観戦・演出は スプリントである以上、観戦や演出に力を入れていく必要はある程度あると思うが、もしそれが競技の質を疎かにする可能性がある(運営のキャパ的に)ならば、競技の質を優先させてほしいと思う。(立教大学)

インカレスプリントの持続可能な開催には収入が必要という意見を紹介したところ、大多数の人が一般クラスの設置に賛成となった。一般クラスの設置に関して賛成の意見としては、エリートクラスのみでは盛り上がり欠ける、自身も参加したいといったものが多く、反対意見としてはタイムスケジュール的に厳しい、一般クラスはミドル・ロングのみで十分との意見が挙がった。また、少数ではあるが、一般クラスとチャレンジクラスは両方開催可能なのではないかと意見も挙がった。観戦・演出について挙げられていた例に関しては好意的な意見が多かった。その中では特に、プロジェクターを用いた中継や、実

況を希望する声が多かった。また、少数意見ではあるが、twitter を用いた実況はどうかとの意見も挙がった。(東北大学)

一般クラスを設ける余裕があるならば選手権の予選決勝方式を希望する。チャレンジクラスは一斉スタート方式でもよい。(名古屋大学)

3.参加費に関して

3000 円は高いと感じる。この値段ならば、今までに無く難しくて楽しいレースだったと感じられる様なコースが欲しい。(お茶の水女子大学)

スプリントで 3000 円は決して安くない。それ相応のクオリティが求められる。チャレンジクラス 1000 円は比較的参加しやすい値段だと思う。選手権の値段はこれ以上高くされると厳しい。(一橋大学)

安いに越したことはないが、切り詰めた結果としてどうしても必要な額ということで提示された額は受け入れ、支払う。参加費 3000 円はやや高く感じる。(横浜国立大学)

スプリント競技に 3000 円を払うのは高い気がする。選手権は 2500 円、一般は 1500 円ほどが丁度いい。3000 円を集めるならば、より高いクオリティを期待する。実験大会のような運営は望ましくない。選手権と一般、チャレンジクラスの値段の違いは適切であるのか。このくらいの差ならば、一般クラスで良いと感じてしまう。(岩手大学)

3000 円は適切。(宮城学院女子大学、相山女学園大学、筑波大学)

参加者にとって 3000 円は高いが、プロジェクターの放映など費用がかかるのであれば 3000 円でも良い。スプリントは距離や競技時間が短いいためほかの競技に比べるとどうしても参加費を安くして欲しいと思う。今までのインカレ並のクオリティを期待する。(実践女子大学)

選手権クラスで 3000 円は、一般的なスプリントと比較して高いと思う。インカレスプリントの参加費としての支出は、最高でも 1500 円であると考えている。(十文字学園女子大学)

選手権 2500 円、チャレンジクラス 2000 円のように、選手権クラスとチャレンジクラスの参加費の差はもう少し小さくてもよいのではないかと。選手権に出るような人たちは参加費が高いからと言ってチャレンジクラスに鞍替えする人はいないと思われるが、チャレンジクラスと同じコースを走るのに参加費が 3 倍になるのは問題だと思う。

一般クラスなら 1500 円程度までなら問題ない。スプリントに近い一般的なパーク O の

参加費は 1000 円が多い。インカレという運営の労力を考えると、それよりも多少高い金額でも妥当だと思われる。ただ、1500 円以上になると少し高いと思う。(千葉大学)

パーク O ではなく、「スプリント」が提供されるのであれば 3000 円でも高くない。チャレンジクラスで選手権と同じコースを走れるのに 1000 円はおかしいと思う。チャレンジクラスなら選手権と同一の値段にすべき。ロングやミドルの選手権登録費が 1000~1500 円であるのに、スプリントだけ 2000 円なのはおかしくないか。(東京大学)

スプリントを一本走って 3000 円だとクオリティには期待してしまう。インカレで全国から集まる大きい大会なのである程度の参加費は仕方ないと思う。クオリティには期待する。(東京工業大学)

仕方ないと思うが、高いと感じる。3000 円ならば競技の質の高さはもちろん、演出にも力が入った大会（できれば予選決勝）を期待する。(立教大学)

数としてはこの料金が妥当ではないかとの声が多かったが、「高い」という意見も目立った。「高い」と感じる人の意見としては、一般クラスとエリートクラスの差が大きすぎる、なぜそれほど値段がかかるのか分からない、といった意見が挙がった。具体的には、2500 円までなら出場する、1000 円程度なら出場するという意見が挙がったが、金額にはばらつきが見られた。3000 円という金額には高いと感じる人が多いようであった。その一方、5000 円程度までなら支出しても構わないという意見も少数ではあったが挙がった。3000 円という料金から、走り甲斐のある充実したコースを期待する意見も見られた。(東北大学)

3000 円が高いか安いかは大会の質次第。(名古屋大学)

4.その他

これから始めていくことなので、なるべく作業を削り、ミス無くす方向で考えたほうが良いという意見がありました。(岩手県立大学)

スプリントのトレインがロングのトレインに合わせなければならない状況なので、トレインの選択肢が限られてしまうことが心配。運営は大変だとは思いますが、日本のスプリントに対する意識の向上に向けて頑張ってもらいたいです。(岩手大学)

トレインについてスプリントは山林より公園や市街地で行うべきという見解が出されている。ロングと併催になることによって、それに対する制約が少なくないのではないか。インカレスプリント開催議論の経緯からいっても、肝となるトレインに制約が生じ、それ

による「妥協」の可能性が生まれるのは好ましくないように思う。(筑波大学)

参加費の欄にも書いたが、パーク O ではなく、「スプリント」を継続して供給できる体制を作って欲しい。スプリント競技とはどういうものか定義する指針を作って欲しい。(東京大学)

2 項目にも記載したが、競技の質を再優先に考えて欲しいと思う。スプリントである以上、選手の隔離、地図の質、不明瞭な立ち入り禁止エリアのテープ、立ち入り禁止エリア付近の役員配置、高速なナビゲーションの中でのルートチョイスを求められる上質なスプリントコース、厳格な失格処理など、現在の日本のスプリント大会では（全日本スプリントでさえ）正しく行えていないことが見られるため、競技としての質を確保した上で演出などにも余裕があれば力を注いでいただけたらいいと思う。(立教大学)

公開を早くしてほしい。(東北大学)

5.インカレスプリントとは関係のないその他(普及部への意見)

インカレミドルの際に感じたことなのだが、観戦ガイドの販売制限をしたほうがよいのではないかと。各大学で制限すると人数の差が激しくなるので、例えばおひとり様 2 部までのように、並んでいる人一人当たりの購入部数を制限するべきである。一気に 10 部以上買う人もおり、部内での数量確保のためにやっているのだろうが、ならんでいる人からすれば、甚だ迷惑な行為である。実際、千葉大学の部員が購入した時には残り 2 部しかなく、2 部とも買うのは…という事で 1 部だけかったらしい。結果千葉大学で観戦ガイドを持っている人は 1 人だけという状況になってしまった。行列があれだけ続いている以上、売れ残る事態は考えにくいので、もう少し売り方を考えてほしい。(千葉大学)

インカレスプリント実施に向けたアンケート

事業部 平野大輔

2014年度インカレロング前日に行われる2回目のインカレスプリント試行大会を経て、翌年度に第1回インカレスプリント本大会を行う計画で今年度中にその準備を進めることが臨時総会で確認された。本アンケートは「インカレスプリントの持続可能な開催」のためにインカレスプリントがどのような大会、規約、競技形式であるべきかなどについて、全加盟員の意見・アイデアを集約することを目的とする。

<現時点までになされたインカレスプリント実施に向けた議論>

・日程

ロング前日が望ましいのではないか

新たにインカレスプリントのために日程を設けるのは運営面、学生の時間、金銭面からも厳しい
インカレミドルリレーモデルイベントの日の開催はミドルリレー実行委員会の負担が大きい。

・競技形式(ロング前日に行うことが前提のものもある)

決勝レース1本が望ましい。

インカレロングモデルイベント、日本学連総会もあり、使える時間が限られるため
男子60人、女子30人。

・規約関係

出場枠は各地区学連に割り振られる。第一回大会は各学連の加盟員数の割合で割り振る。次年度以降はロング、ミドル同様に成績に基づいた配分を行う。

1.以上の議論について意見があれば以下にまとめてください。

<選手権クラスに出場できなかった加盟員に対して>

・一般クラス

選手権クラスに加えて一般クラスを設けるべきかどうか？

ロング、ミドル、リレーのように一般クラスを設けるという選択肢と希望者が走ることができるエリートチャレンジクラスを設けるという選択肢の2つがあると考えられる。

インカレスプリントの持続可能な開催のためには選手権クラス以外からも収入が必要(参加費の項目で後述)

・観戦・演出について

インカレミドルリレーモデルイベントの日に行われたインカレスプリント実験大会では観戦・演出面での不満がインカレスプリント実験大会運営者の行ったアンケートでもまとまった数見られた。ショーアップスポーツとしてスプリントを見せるためには、実現可能な範囲でどのような試みが可能だと思うか??

例)観戦ガイドの配布、観戦エリアの拡大、プロジェクターによる選手通過の様子を放映、実況等

2.一般クラス設置の是非、観戦・演出について意見があれば以下にまとめてください。

<参加費について>

選手権クラスで3000円、一般クラスもしくはチャレンジクラスで1000円程度の参加費設定でおおよそ運営にかかる支出を回収できると簡易的に試算されている。

参加費はどの範囲内におさまれば加盟員の負担にならないか？いくらまでならインカレスプリントに支出できるか？仮に参加費が3000円としてそれを安いと感じるか、高いと感じるか、またその値段からどの程度の大会クオリティを期待するか？

3.参加費について意見があれば以下に記してください。学校として意見をまとめる必要はありません。より多くの個人の意見をお書きください

| |
|--|
| |
|--|